

地域連携で生み出すいばらき エコ・ネットワークSTEP3 生活者が生み育てる グッドプラクティスの発信

田村 誠

茨城大学 地球変動適応科学研究機関(ICAS) 准教授
tamura@mx.ibaraki.ac.jp

報告内容

- ▶ プロジェクトの概要
- ▶ 2年間の成果と教訓
- ▶ 3年目の計画
- ▶ おわりに



概要



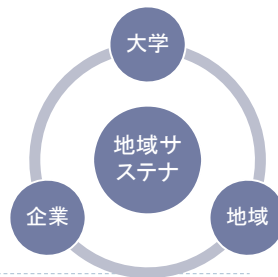
▶ 地球温暖化や地域のサステナビリティに関する地域の各主体の取り組み

- ▶ 知(知る)
- ▶ 連(繋げる)
- ▶ 創(つくる)
- ▶ 展(ひろげる)



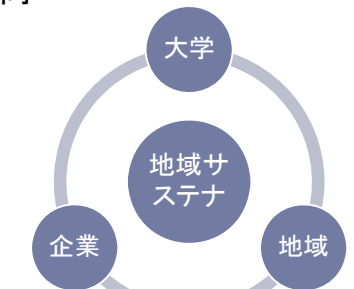
▶ 3STEPの実践

- ▶ STEP1 エコ・ネットワーク
- ▶ STEP2 エコ・コミュニティの創造・展開
- ▶ STEP3 グッドプラクティスの発信



STEP1：エコ・ネットワーク

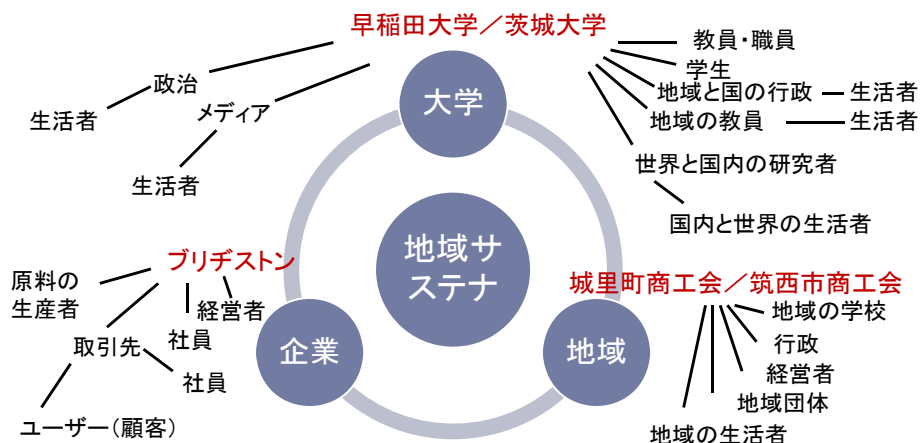
- ▶ 生活者が繋がる足場としての3つのコミュニティ
- ▶ 生きた架け橋(W-BRIDGE)で足場を結んで生まれる生活者コミュニティ同士のネットワークモデル
- ▶ それぞれのコミュニティの得意分野を活かした活動で役割分担と連携プレー



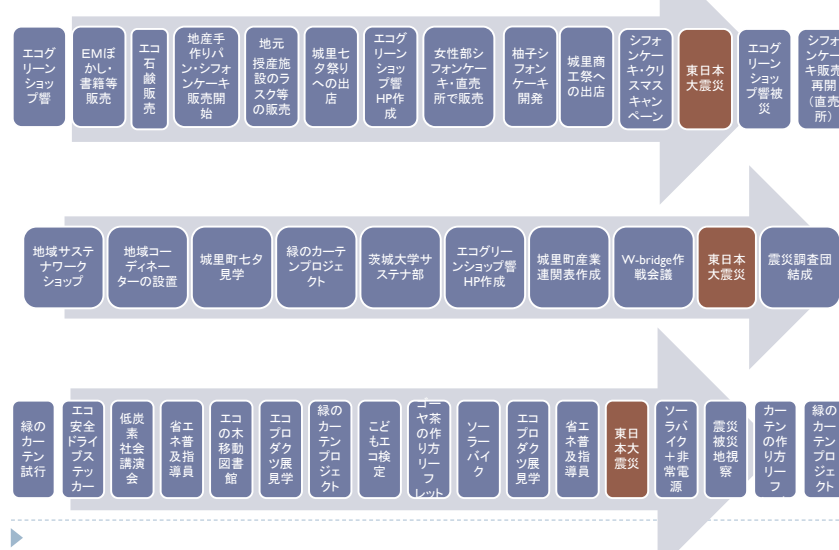
いばらきエコ・ネットワークのモデル

STEP2: エコ・ネットワークからエコ・コミュニティへの展開

▶ 生活者が繋がる足場 (scaffold) としての3つのコミュニティ



Trial and Errorの積み上げる 足腰の強い確かなエコ・コミュニティ



311震災後の対応

▶ 城里町

- ▶ エコ・グリーンショップ響は閉店、店舗の取り壊し
 - ▶ 現店舗、移転予定先ともに被害
 - ▶ シフォンケーキの再開、道の駅での販売



▶ 筑西市

- ▶ ソーラーバイク+バッテリー
- ▶ 被災地(石巻他)の視察
- ▶ 緑のカーテン



▶ 茨城大学

- ▶ 震災調査団の結成
- ▶ 被災地大学としての貢献
- ▶ 緑のカーテン

	中間調査										最終調査		純増輸出	生産額
	農林水産	福祉	加工業	卸業	建設	サービス業	その他	内産内消費	内産内消費	内産内消費	内産内消費	内産内消費		
農林水産	320	1,272	29	26	0	101	0	1,740	475	2,423	1,227	3,651		3,651
福祉	421	2,020	493	708	38	1,208	1,350	9,332	5,669	11,002	-1,024	9,978		9,978
加工業	297	700	15,748	2,890	635	1,762	251	22,301	8,984	31,285	7,210	38,495		38,495
卸業	32	33	248	36	22	423	133	817	11,028	11,846	750	12,600		12,600
建設	211	342	1,090	786	331	1,027	198	3,891	2,873	6,764	-2,727	4,037		4,037
サービス業	354	1,214	5,025	3,048	1,166	5,473	780	19,249	92,224	66,484	-29,992	36,500		36,500
その他	49	244	2,534	244	80	1,093	499	4,722	1,777	6,499	-2,027	4,472		4,472
内産内消費	1,072	3,853	25,180	6,722	2,253	11,228	1,950	54,652	81,335	136,317	-27,183	109,134		109,134
経常貿易	-1,977	-4,051	-12,209	-5,953	-1,603	-15,457	-1,832	-54,150						
生産額	3,651	9,947	38,496	12,695	3,937	36,539	3,872	109,133						

茨城大学東日本大震災調査団

- ▶ 茨城大学有志および地域各団体が参加
 - ▶ 現在約120名が参加
- ▶ 茨城の地震、津波、地盤災害、避難、社会影響
- ▶ 被災地としての記録、教訓を生かす
 - ▶ 4/19中間報告会
 - ▶ 6/1 報告会
- ▶ コミュニティの重要性を再確認

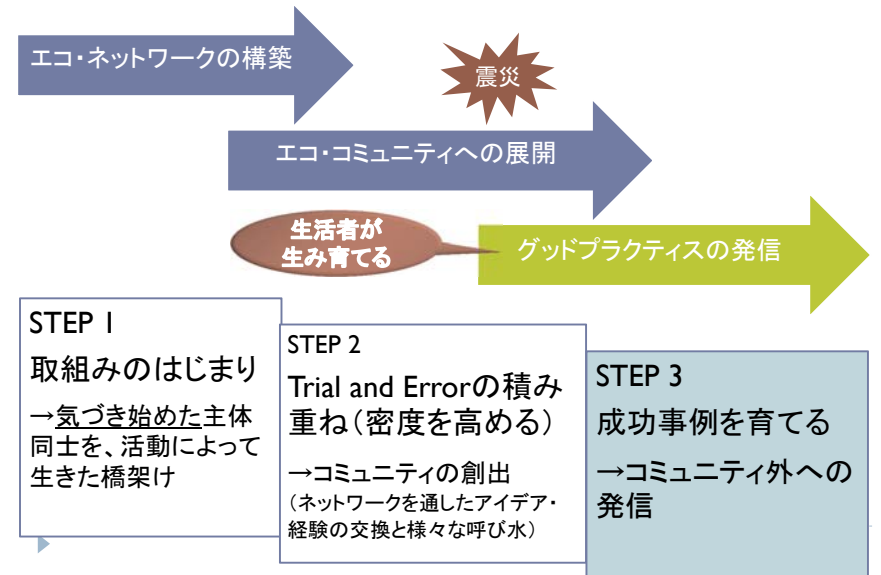


▶ <http://www.icas.ibaraki.ac.jp/shinsai2011/>

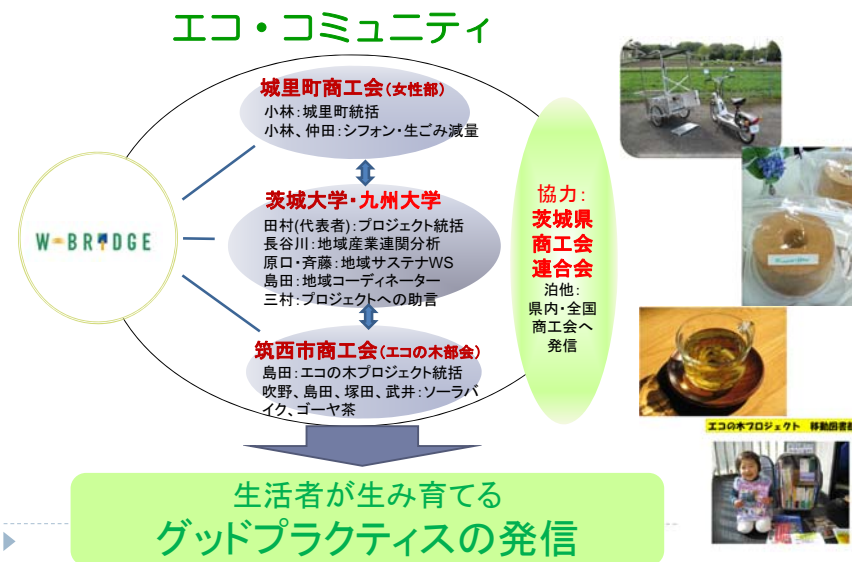
2年間の成果と教訓

- ▶ 活動を育てるには時間がかかる
 - ▶ Trial and Errorの積み重ね
 - ▶ 多くのコンテンツの充実
- ▶ コミュニティづくり、生活者の視点
 - ▶ ネットワーク、コミュニティにはポテンシャル
 - ▶ 東日本大震災での互助、共助
 - ▶ 地域特性に応じた活動基盤づくり
 - ▶ 生活者(生産者かつ消費者)の視点
 - ▶ 自らが生んだ成果と教訓をきちんと咀嚼し、ゆっくり育てる
- ▶ 成果と教訓を育て上げて、伝えていく

STEP3: 3年目の計画



組織体制



実践方法とそのスケジュール

	城里町商工会 (女性部)	筑西市商工会 (エコの木部会)	茨城大学 九州大学	協力: 茨城県商工会 連合会
2011年7月 (1st Stage)	・契約 ・生ゴミ減量化プロジェクト ・エコ石鹸作り ・地元野菜を使ったシフォンケーキ	・契約 ・ソーラバイク+非常電源ブラッシュアッププロジェクト ・ソーラバイク学校訪問プロジェクト ・エコプロダクツ展への出展(目標)	・契約 ・城里生ゴミ減量化プロジェクトの評価 ・Websiteへのグッドプラクティス収集	・県内商工会及び全国商工会への情報発信(随時)
会計報告・成果報告書作成				
いばらき地域サステナワークショップの開催(2011年12月)(茨城大学主催)				
2012年1月 (2nd Stage)	・地産地消のお菓子作り・エコ石鹸作り ・リリーフレット作成	・省エネルギー普及指導員養成 ・緑のカーテン	・城里町産業連関表と全国との比較、経済効果分析	・小冊子の県内商工会への配布・全国への発信
小冊子『商工会がつくる低炭素社会』(仮)作成				
W-BRIDGE報告会				
いばらき地域サステナワークショップの開催(2012年5月)(茨城大学主催)				
会計報告・成果報告書作成				
契約終了処理				
2012年6月 (委託終了)				

ソーラーバイク+非常電源ブラッシュアッププロジェクト



ソーラーバイク充電装置

活用して育てる
ソーラーバイク+
非常電源



ソーラーリヤカー牽引バイク



非常電源・イベント電源

ソーラー充電サイドカー



おわりに

- ▶ 本プロジェクトは3STEP3年と位置づけている
 - ▶ STEP1 エコ・ネットワークの構築
 - ▶ STEP2 エコ・コミュニティの展開
 - ▶ STEP3 生活者が生み育てるグッドプラクティスの発信
- ▶ 過去2年間の成果と教訓
 - ▶ 活動を育てるには時間がかかる
 - ▶ コミュニティづくり、生活者の視点の重要性を再認識
- ▶ 今後は横に広げる取組へ
 - ▶ 失敗も含めた教訓、グッドプラクティスを他コミュニティへ

小冊子「商工会がつくる低炭素社会」(案)

- ▶ 商工会と低炭素社会づくり
- ▶ 混ぜて植え競争して育む低炭素社会づくり
- ▶ コベネフィットアプローチ
 - ▶ エコ・ネットワーク → エコ・コミュニティー →
 - ▶ グッドプラクティス 3ステップを使いこなそう!!
- ▶ 商工会で低炭素社会づくりに取り組む具体的手法
 - ▶ 環境問題ワークショップによる方法 商工会がつくる低炭素社会
 - ▶ 商工会の目的別部会を活用する方法
- ▶ グッドプラクティスを実践しよう!
 - ▶ ゴーヤ茶の作り方
 - ▶ 緑のカーテンの作り方
 - ▶ ソーラーバイクの作り方
 - ▶ エコ石鹸の作り方
 - ▶ 地産地消の地元野菜を使ったお菓子
- ▶ 産業連関表を活用しよう!
- ▶ おわりに



ご清聴ありがとうございました。

